

令和5年度 入学者選抜試験問題

国 語

〔100点〕
〔50分〕

実施日：令和5年1月12日（木）

※ 下記の〈注意事項〉をよく読み、監督者の指示があるまで開かないこと。

〈注意事項〉

— 開始前 —

1. 試験時間は10：20～11：10の50分であり、途中退室は認めない。
2. 監督者の〈開始〉の指示があるまで、この問題冊子の中を開かないこと。
3. 解答用紙には、解答欄のほかに、受験番号・氏名の記入欄があるので、下記を参照し記入・マークすること。
 - 受験番号欄 上段に受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。
 - 氏名欄 氏名・フリガナを記入すること。
4. 解答用紙に汚れがある場合には、挙手で監督者に知らせること。

— 開始後 —

1. この問題冊子は22ページである。確認してページの落丁・乱丁・印刷不鮮明等がある場合は、挙手で監督者に知らせること。
2. 解答は、すべて解答用紙の所定の欄へのマークによって行うこと。
例えば

40

 と表示のある問いに対して ③ と解答する場合は、次の(例)のように解答番号40の解答欄の③にマークする。

(例)

解答 番号	解 答 欄				
	1	2	3	4	5
40	①	②	●	④	⑤

3. マークはHBの鉛筆で行い、所定欄以外にはマークしたり、記入したりしないこと。
4. 解答用紙は汚したり折り曲げたりしないように特に注意すること。
5. 訂正は、消しゴムであとが残らないように完全に消し、かすが残らないようにすること。
6. 質問等がある場合は、挙手で監督者に知らせること。ただし、問題に関する質問は受け付けない。

(問題は次のページから始まる)

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

問1 本文中の（ a ）～（ e ）に入る語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つずつ選びなさい。ただし、それぞれ一度しか使えない。

解答番号は（ a ） 、（ b ） 、（ c ） 、（ d ） 、（ e ）

- ① そして
- ② 逆に言えば
- ③ だからこそ
- ④ つまるところ
- ⑤ 例えば

問2 本文中の（ I ）～（ III ）に入る語句として最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。
解答番号は（ I ） 、（ II ） 、（ III ）

- | | | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|
| I | ① 本筋 | ② 枝葉 | ③ 末尾 | ④ 先端 | ⑤ 脇道 |
| II | ① 土台 | ② 生命 | ③ 本陣 | ④ 思想 | ⑤ 応用 |
| III | ① 全体 | ② 循環 | ③ 本質 | ④ 基準 | ⑤ 規範 |

問3 次の一文は、本文の《1》～《5》のいずれかから抜き出したものである。文が入る箇所として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 9

そもそもの観念までさかのぼって考えることが大切な理由は、このような合意を得るためという目的に限定されません。

- ① 《1》 ② 《2》 ③ 《3》 ④ 《4》 ⑤ 《5》

問4 傍線部A「問いがあるからある」とあるが、その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 10

- ① 何が重要な意見であるかは問いのスケールで決まり、スケールの大きい問いを問うことが人間の存在意義であるということ。
② 問いと答えはあくまで一つのセットとして考えるべきであり、問いと切り離して答えとなる意見は存在しないということ
③ 答えのある問いと答えのない問いの分類も、考えや意見も、問いがあるからこそ存在しているのだということ
④ 問いにははっきりした答えがあるものとなないものがあり、はっきりした答えがある問いのほうにむしろ少数であること
⑤ 問いがあることについて考えるという、問いを問う問いこそがすべての問いの根本にある問いだということ

問5 傍線部B「その根拠を踏まえて考えられている」とあるが、この説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は

11

- ① なぜその問いが問われるに至ったのかという歴史的経緯を踏まえて、ものごとを根拠から因果的に関連付けて考えられているということ
- ② 生きていることが問いであり、我々が問いとして存在するという端的な事実を根拠にして、そうした前提からものごとを考えられているということ
- ③ どのような時代にも決してブレることなく問題とされてきた具体的な問いというものが存在し、そうした問いを出発点として考えられているということ
- ④ きつと正解があるという考えや自分の意見が正しいという考えに過度に執着することなく、あえて決まった答えを求めることをせずに考えられているということ
- ⑤ 「なぜその問いがあるのか」という根源的な存在についてまで考えられているか否かを、それぞれの問いがどのような前提で発せられたのかを踏まえて考えられているということ。

問6 傍線部C「この二人が意見交換すると、なかなか合意がとれないことは容易に想像がつかます」とあるが、その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 12

- ① どちらの意見にも長所短所があるのは当たり前であり、単なる意見交換で合意にいたるのが不可能なのは当然だから。
- ② 意見の異なる対話で合意を得るための一般的な方法を述べることが難しいのは、誰もが知ることだから。
- ③ どちらも問いを問うという論理形式に従っておらず、それゆえ論理に矛盾した議論になってしまうのは明白だから。
- ④ 場面の設定や条件の設定をして問題を限定しないと、結論にはいたれないことは明白だから。
- ⑤ どちらも自分の意見の前提を明らかにしておらず、意見の全体が分からなければ合意にいたれないのは明白だから。

問7 空欄 X に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 13

- ① さまざまな体験から何かを見出す
- ② そのときそのときの楽しみを重視する
- ③ 仕事よりも私生活に力点を置く
- ④ お金を稼ぐことより自己実現を重んじる
- ⑤ 自分の好みに応じた仕事を選ぶ

問8 空欄 Y に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 14

- ① 大局観
- ② 仕事観
- ③ 責任観
- ④ 生活観
- ⑤ 哲学観

問9 本文の内容と合致するものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 15

- ① いい問いとは何かと言う場合の「いい問い」の内実は変わるものであり、その内実を明らかにするためには問いの場面を包括した位置から問いを眺めてみる必要がある。
- ② 問いは答えがある問いと答えがない問いという二分法で分けられるべきものであり、こうした分類にしたがって本質的な問いを解決する直接的な方法を模索すべきである。
- ③ 我々が問いとして存在しているという事実は恐ろしいほど重要なことであり、これに比べれば問いに答えることなど些細なことには過ぎない。
- ④ 仕事についての意見交換をするときには、時代情勢、職種や仕事の内容、個々人の好み等さまざまな要因を考慮しないといひ問いにたどり着けない。
- ⑤ ある特定の場面でしか通じない理論や考えよりも、どのような場面でも通じる理論や考えの方が、より多くの事柄に影響を及ぼし得るため、重要である。

第2問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

網掛け部分については、著作権上の理由により公開できません。

問1 カタカナで書かれた(ア)、(イ)の傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は(ア) 16、(イ) 17、

(ア) カイキユウ

- ① 話し合いはフンキユウした。
- ② 物資がキユウボウしている。
- ③ キユウソクに少子化が進んだ。
- ④ キユウタイ依然とした組織。
- ⑤ ユウキユウの歴史に思いをはせる。

(イ) トウテイ

- ① 梅の花で有名なテイエンだ。
- ② 発達したテイキアツが関東に迫る。
- ③ カイテイを潜水艦で探索する。
- ④ 彼のテイアンを受け入れた。
- ⑤ 景気がテイタイしている。

問2 本文中の (a) (b) (c) に入る語句として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つずつ選びなさい。ただし、それぞれ一度しか使えない。

解答番号は (a) 、(b) 、(c)

- ① そして ② たとえば ③ だからこそ ④ また ⑤ しかし

問3 傍線部A「もしそうでなければ古典には価値がないのだろうか？」の答えとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は

- ① 古典の価値は、それがどれほど「事実」を記したものであるのか、また、そこに述べられていることや描写されていることが、現代の発掘調査や考古学的研究によって、どれだけ「事実」であると証明されたのかどうか、という点にある。
- ② 古典の価値は、そこに記された多くの動植物の実態を読むことによって、当時の自然環境や生態系といったものをどれだけ知ることができるのか、といった実証的かつ自然科学的な立場から有意義な成果が得られるかどうか、という点にある。
- ③ 古典の価値は、そこに登場する「仮空」の動物や怪物が、現代の私たちがもっている既知の認識の枠組みを超えて、イメージーション豊かに描かれている点にあり、かつ、それを読んだ現代の私たちもそれに心から共感できる点にある。
- ④ 古典の価値は、そこに述べられていることがどれほどの事実を含むかどうかで決まるのではなく、古典がその時代の人びとのイリュージョンによって構築されていることや、現代の人びとも共有されているイリュージョンを生み出した点にある。
- ⑤ 古典の価値は、古典を生んだ時代の人びとが叙情ゆたかに展開した世界観を知ることができる点や、古の時代から現代に至るまで、時代ごとの世界観の移り代わりを知り、現在のわたしたちの生活に生かすことができるという点にある。

問4 本文の中のaとeの文を意味の通るように並べたものとして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 22

- ① b | d | c | a | e
- ② c | a | e | b | d
- ③ c | d | a | e | b
- ④ e | a | b | c | d
- ⑤ e | d | c | b | a

問5 傍線部B「同じようなこと」の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 23

- ① 万葉集のなかには多くの動物の名前があがっているが、いずれも現代的な分類学を正確に反映したものではなく、当時の生きた現実のクジラを知ることができないということ。
- ② 万葉集のなかには多くの動物の名前があがっているが、イサナ（クジラ）も現代よりも身近なもので、人びとの目にふれやすかったことから歌のなかに登場したということ。
- ③ 万葉集の生まれた時代の人びとは、現代のような科学的な自然観察ということを行っていなかったもので、万葉集のなかの動物は、現実の姿を正確に詠ったのではないということ。
- ④ 万葉集のなかに出てくるイサナは「海」の枕詞になっていて、イサナという言葉が単独で使われることはなく、広くおそろしい海を表現するためだけに用いられているということ。
- ⑤ 万葉集のなかに出てくるイサナとは、生きた現実のクジラのことをいっているのではなく、当時の人びとが構築した世界、すなわちイリュージョンを表現しているということ。

問6 空欄

X

 に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は

24

- ① 現実のホトトギスの声が聞こえていたかどうかはわからない
- ② ホトトギスの示す世界観が人々にとって大事だったのではない
- ③ 人里にいるウグイスよりも神秘的なものであったのだろうか
- ④ ホトトギスは古きを懐かしむ場合に用いられる枕言葉だった
- ⑤ 当時の人びとにとって、ホトトギスが身近であったのだろうか

問7 傍線部C 『万葉集』の歌の中には「チヨウはまったく出てこない」ことこの理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は

25

- ① 万葉の時代には、現代よりも豊かな自然環境が残されていたことから、多くの動物や植物が人びとの周囲に存在し、当時の人びとは小さなチヨウの存在に気づくことができなかったから。
- ② 万葉集は当時の人びとのイリュージョンに基づいて構築していた世界観を詠ったものであり、実際には当時もチヨウは存在していたが、人びとがチヨウに意味を与えることがなかったから。
- ③ 万葉集が成立する頃の日本は中国に大きな影響を受けており、中国の古典では、チヨウは何らかの理由ないし論理によって、意味を与えられておらず、万葉集もそれを踏襲したものであったから。
- ④ 古事記にたくさん出てくるトンボが万葉集ではまったく登場しないように、歌に詠われる動物や植物は、その時代の人びとの好みを表していて、そうした人々の嗜好は時代とともに変遷するものだから。
- ⑤ 日本の万葉集や西洋のバイブル（聖書）のように、古い時代につくられたものは、チヨウには特別の意味を与えないというイリュージョンが、当時の人びとの間で共有されていたから。

問8 傍線部D「怪物グレンデルは古典「ベーオウルフ」の時代のイギリスに住みつくことになった」の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 26

- ① 「ベーオウルフ」の時代のイギリスでは、エジプトから伝わったワニの恐ろしさに尾ひれがついて、ベーオウルフでも倒すことができなかったということ。
- ② 「ベーオウルフ」も日本の万葉集のように、当時の世界観を現した古典としてイギリスの人びとの間で長く読み継がれてきたものであるということ。
- ③ 「ベーオウルフ」が成立した時代に、文化の先進地域であったエジプトから伝えられた怪物が、イギリスでも市民権を得て人びとに愛されたということ。
- ④ 「ベーオウルフ」がつけられた時代の人びとの間で、怪物グレンデルの姿形について、論理的根拠をもったイリュージョンが共有されたということ。
- ⑤ 「ベーオウルフ」が成立したことによって、実際にはイギリスに存在しないワニが、人びとにイリュージョンとして共有されるようになったということ。

問9 空欄 Y に入るものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 27

- ① 言語道断
- ② 虚々実々
- ③ 荒唐無稽 むげい
- ④ 有象無象
- ⑤ 頑迷固陋 ころう

問10 傍線部E「そういう意味では、ギリシア神話のレダは、ハクチヨウの姿をしたゼウスとほんとうに交わったのかもしれない」の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は 28

- ① ギリシア神話の内容であっても、人びとの論理の中では、きわめて現実味を帯びたものとして認識されていたということ。
- ② レダやハクチヨウの姿をしたゼウスのイマジネーションが現実のものとして人びとの間に共有されていたということ。
- ③ 日本人から見たら幻想であっても、ギリシアの人びとの間で神話は絶対であり、現実だと認識されていたということ。
- ④ 西洋では、古典であるギリシア神話に登場するものは、「事実」であることを前提に研究されてきたということ。
- ⑤ ギリシア神話に書かれていることが「事実」であると認識することで、その価値が一層高まるということ。

(白紙ページ)

(白紙ページ)

(白紙ページ)

